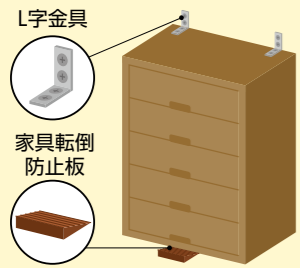
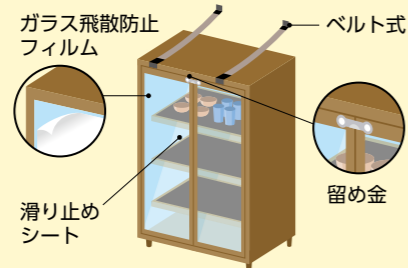


すぐにできることから始めよう(日頃からの地震への備え)

1 | 家具の固定



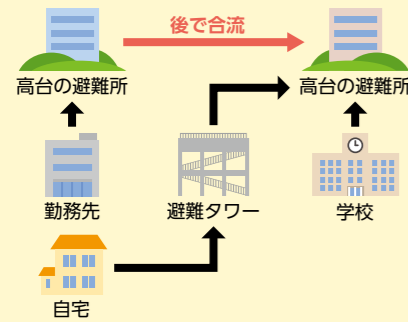
2 | 強い揺れで物が落ちてこないか



3 | 家族との集合場所を話し合う



4 | ハザードマップを確認し、避難場所や避難経路を確認



5 | 非常持ち出し袋 季節によって中身を変えるなど工夫しましょう。

- 非常食、飲料水
 - マスク
 - 防寒着
 - 歯ブラシ等
 - 生理用品
 - 非常用の携帯電話充電器
 - 使い捨てカイロ
 - 毛布、タオル
 - 常備薬
 - おむつ(乳幼児・高齢者用) など
- 【あると便利なもの】●携帯ラジオ ●電池 ●懐中電灯 ●ホイッスルや防犯ブザー
- 【貴重品】●通帳 ●印鑑 ●現金 ●身分証明書(マイナンバーカード等) ●携帯電話



防災について学ぼう
今後のイベント情報をご紹介します

津波防災シンポジウム

「津波防災について考える～防災学習と自助・共助～」をテーマに、講演などを通して津波防災への理解を深めます。

プログラム

- 基調講演(講師:東北大学災害科学国際研究所准教授 柴山明寛氏)
- 情報提供(巨理町、宮城県)
- 11月5日(土)午前10時から(受け付け開始は9時30分)
- 巨理町立荒浜中学校 先着100人程度
- 必要事項を記入し、Eメールにより下記へ(詳しくはホームページをご覧ください)
- 防災砂防課 ☎022(211)3175
- bousa-ki@pref.miyagi.lg.jp

ホームページはこちら
(動画は11月中旬公開予定)



みやぎ防災フォーラム2022

共助(地域での助け合い)について、地域防災の取り組みを紹介するほか、地震・津波への備えや避難の重要性についてお伝えします。県公式YouTubeで動画を配信しますので、下記よりいつでもご視聴いただけます。

プログラム

- 講演(仙台管区气象台)
- 宮城県防災指導員などの活動事例紹介
- みやぎ東日本大震災津波伝承館からのメッセージなど
- 11月5日(土)午後1時 動画公開
- 防災推進課 ☎022(211)2464

動画はこちら



ぼうさいキッズパーク

ご家庭での「防災のきっかけづくり」のために、お子さんはもちろん大人にも楽しみながら学んでいただけるプログラムを実施します(要予約・入場無料)。

プログラム

- ①ガラクタでわかる「地震のおこりかた実験」
講師:東北大学災害科学国際研究所准教授 福島洋氏
- ②建物ってなんで揺れるの?
講師:東北大学災害科学国際研究所准教授 榎田竜太氏

11月23日(水・祝)

- ①午前11時～正午
- ②午後1時～2時
- みやぎ東日本大震災津波伝承館(石巻市南浜町2丁目1-56)
- 各回先着20人
- 電話またはEメールにより下記へ(詳しくはホームページをご覧ください)
- みやぎ東日本大震災津波伝承館 ☎0225(98)8081
- miyagi-denshokan@pref.miyagi.lg.jp

ホームページはこちら



防災推進課 ☎022(211)2376

地震・津波に備えましょう

11月5日は「津波防災の日」「世界津波の日」です

東日本大震災による津波被害を踏まえ、日本では「津波防災の日」が、国連総会では「世界津波の日」が制定されました。これにより、全国各地でさまざまな取り組みが実施されています。この機会に、みなさんも災害への備えについて考えてみましょう。

なぜ津波防災の日は11月5日?

江戸時代末期(1854年)に中部地方から九州地方の太平洋沿岸に大きな津波被害をもたらした安政南海地震の発生日にちなんだものです。その際の出来事が物語「稲むらの火」のモデルとなっています。

あっ!地震だ

まずは揺れから身を守ろう!



安全な場所に避難



姿勢を低くして身を守る



かばんや本などで頭を守る

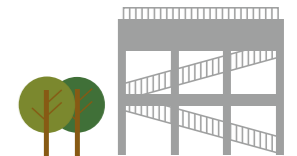
「より高いところ」を目指して逃げよう!

津波はとても速いので、津波を見てから逃げたのでは間に合いません。津波の高さは数十メートルでも非常に危険です。高さ30メートルでも車が浮くといわれています。「車で逃げれば大丈夫」と思っていませんか? 車を利用した場合、渋滞などにより円滑に避難できない恐れがあります。原則、徒歩で避難しましょう。



避難場所を目指そう!

どこで津波の被害に遭うか分かりません。津波から逃れるために、お住まいの地域や旅行先の「津波の避難場所」を確認しておきましょう。また、日頃から色々な場面を考えて、避難経路やいざというときの行動などを家族や周りの人と話し合っておくことが大切です。



津波警報・注意報について

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で、気象庁から大津波警報、津波警報、津波注意報が発表されます。その後「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」などの情報が発表されるほか、お住まいの市町村からは避難指示等が出されます。

| | 予想される津波の高さ | | とるべき行動 | 避難の範囲 |
|-------|------------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 数値での発表 | 巨大地震の場合の表現 | | |
| 大津波警報 | 10m超 | 巨大 | 沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、大津波・津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 | お住まいの市町村の津波ハザードマップなどで、浸水が想定される区域を確認しておきましょう。また、津波の規模はさまざまであり、実際には浸水想定を上回る津波が襲ってくることもあるので、最大限の避難を心がけましょう。 |
| | 10m | | | |
| | 5m | | | |
| 津波警報 | 3m | 高い | ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう! | |
| 津波注意報 | 1m | (表記しない) | 海の中にいる人は、直ちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。 | |